株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168－0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（http://www.sunwa.co.jp/ir3/ir_info）

・**住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・**未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・**「配当金計算書」について**
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

サンワテクノス株式会社
東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
TEL.03-5202-4011　FAX.03-5202-4054

株式会社プロネクサス　印刷

SUNWA

第66期 中間株主通信

自 平成25年4月1日　至 平成25年9月30日

サンワテクノス株式会社

証券コード8137

具体的な取り組みを果敢に実行し、グループ全体で「JUMP1200」を確実に遂行する

代表取締役社長　山本　勢

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

当期の業績は、第2四半期の累計期間で過去最高の売上を達成し、前年同期に比べ増収増益となりました。その大きな要因は海外売上高の伸長に加えてアベノミクス効果による円高是正の追い風もあり、国内の新規市場、特に太陽光発電設備向けなどの新エネルギー関連ビジネスの拡大があげられます。一方、従来からの産業分野向けFA市場は、想定より回復が遅れていますが、新たな成長市場の開拓に注力しているところです。

このような経営環境の中、中間配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に報いるべく、1株当たり10円の配当を実施いたしました。また期末配当金も1株当たり10円とし、年間配当20円とさせていただく予定です。

スタートダッシュした第８次中期経営計画「JUMP1200」

今年4月にスタートした「JUMP1200」の進捗につきましては、現在特に“エンジニアリング力向上”を軸とした総合力強化に取り組み、タイで昨年末に開始した設備関連ビジネスが技術商社の付加価値としてお客様からご評価いただいています。また、新興国の人件費の上昇、自動車産業の設備技術力強化など、現地工場の自動化・ハイテク化ニーズに対応しています。今年8月、ベトナム（ハノイ）に駐在員事務所を開設し、中国プラスASEANの市場展開を強化しています。

さらに国内では、従来からのFA分野や成長する新エネルギー分野に加え、ビルやオフィスなど生活空間関連市場で、新規事業の芽が着実に育っています。

一方、“企業体質強化”については、現場基軸で事務の効率化を図る改善活動（各種キャンペーンなど）を展開し、営業の新規テーマの発掘とともに、業務・管理部門、海外現地法人も含めた事務改善活動に取り組んでいます。また、CSRについては社内のコンプライアンス委員会で毎回旬なテーマを取り上げ、社員研修・教育を実施しながら法令順守はもちろん、“開かれた会社づくり”に邁進しています。

具体的な施策を展開し、計画達成を確かなものに

今年度下期のトピックスとしては、現在タイの自動車関連メーカーの自動化ニーズに対して、サンワテスコムの技術者が現地営業と協業していますが、今後、ASEAN全域でのFA市場を指向する“機電一体”の取り組みをさらに強化していきます。またベトナムの拠点では、今後、優良な現地製品の発掘に取り組み、現地法人化するための事業基盤構築を図ります。

さらに今年10月に運営を開始した香港物流センターでは、日本を含めた近隣諸国の共通商品を標準在庫品として保有し、中国やASEAN地区のお客様への納入リードタイムの短縮に努め、サービスを強化し、365日24時間体制のデリバリーを目指します。将来的には欧米市場も視野に入れた基盤整備を図るなど、独自のロジスティック機能を武器に迅速・柔軟なサービスを提供していきます。

今期売上高の伸長を支えた新エネルギー関連ビジネス（写真は、宮崎市広原の太陽光発電設備）

一方、国内の新市場開拓については、既存市場の枠組みを越えて、現場の第一線で一人ひとりが新事業のリサーチに努め、全社員で市場の動向を把握しチャレンジしていきます。

今年8月に開設したベトナムの現地事務所ビル（ハノイ）

求心力を高め、グループの総合力を最大化する

近年、リーマンショックや東日本大震災などを経て、激変する市場環境への対応を図り、現在は2020年の東京オリンピック後の社会経済も視野に入れた経営基盤の強化に取り組んでいます。時代が変わっても「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」の社是のもと、お客様や社会に役立つ道を探求し、提供し続ける当社の企業理念は不変です。

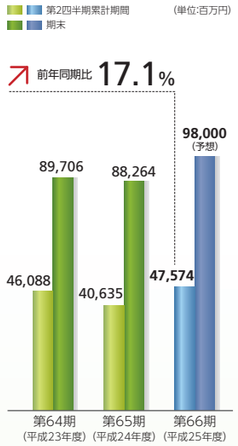
今後も社員一人ひとりの成長を大切にする企業風土を守り、「JUMP1200」を確実に実行・達成することを前提として、グループの求心力を高める人的交流を活性化させ、国内外やセクションの枠組みを越えた、柔軟な情報共有・協業によるグループ総合力の最大化を目指していきます。

SUNWA

売上高

475億74百万円

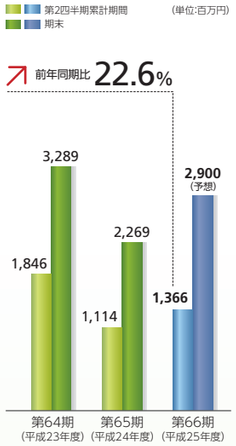
前年同期比 69億38百万円増



営業利益

13億66百万円

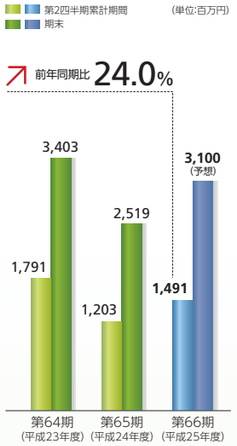
前年同期比 2億51百万円増



経常利益

14億91百万円

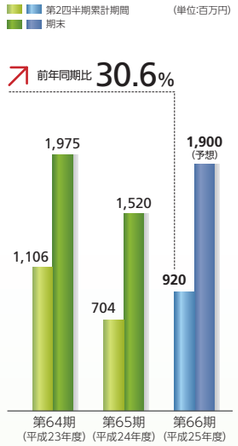
前年同期比 2億88百万円増



当期純利益

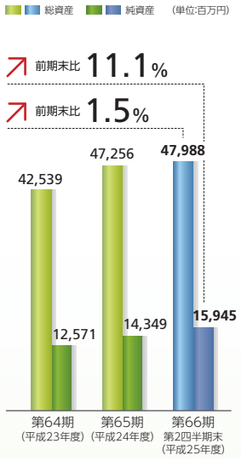
9億20百万円

前年同期比 2億15百万円増



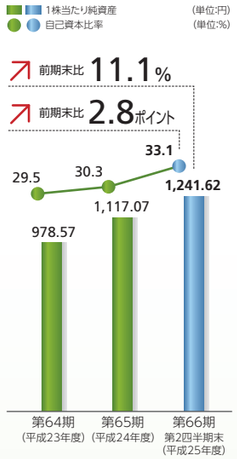
総資産／純資産

総資産	479億88百万円
純資産	159億45百万円
総資産前期末比	7億32百万円増
純資産前期末比	15億96百万円増



1株当たり純資産／自己資本比率

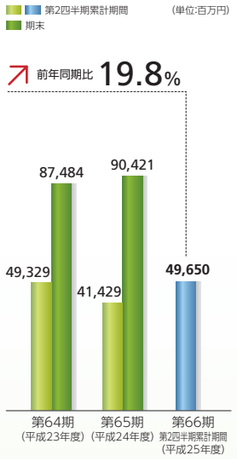
1株当たり純資産	1,241円62銭
自己資本比率	33.1%



受注高

496億50百万円

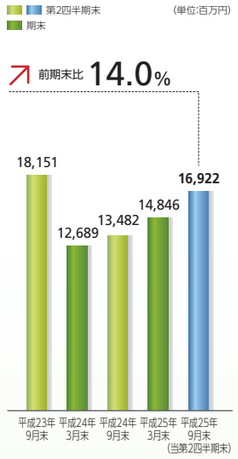
前年同期比 82億21百万円増



受注残高

169億22百万円

前期末比 20億76百万円増



決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、欧州景気に一部持ち直しの兆しが見られたものの中国経済の成長鈍化など景気下振れリスクも存在しており、依然として不透明感の強い状況下で推移いたしました。しかしながら、世界経済の回復を背景に輸出は持ち直しの動きが見られ、また、新政権の経済対策効果による企業や個人の景況感が改善するなど、景気回復に明るい兆しが現れております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、中国市場の低迷を受けて低調に推移しておりますが、一方でスマートフォン向けの需要は堅調に推移したことにより、半導体関連業界、産業機械業界は受注が持ち直しつつあります。また、太陽光発電システムをはじめとする新エネルギー関連の需要も引き続き増加傾向で推移いたしました。

このような環境の中で当社グループは、第８次中期経営計画（JUMP1200）の1年目として、新たな取り組みをスタートさせており、当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期を上回る結果となりました。

通期の見通し

今後の国内経済の見通しは、政府の経済・金融政策などを背景に企業や個人の景況感に改善の兆しが見られるものの、中国経済の成長鈍化など景気下振れリスクも存在しており、依然厳しい経営環境が予想されます。当社業績もその影響を避けられず、当初計画を下回る水準で推移しており、通期業績予想を右記の通り修正いたしました。

第66期　通期業績予想

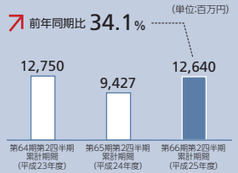
売上高	98,000百万円（前年同期比11.0%増）
営業利益	2,900百万円（前年同期比27.8%増）
経常利益	3,100百万円（前年同期比23.0%増）
当期純利益	1,900百万円（前年同期比25.0%増）
1株当たり当期純利益	148円35銭

（注）業績予想につきましては、平成25年10月28日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

電機部門

売上高構成比率 26.6%

売上高
126億40百万円
前年同期比 32億12百万円増



電機部門では、有機EL生産設備の需要減少により前年同期に比べ真空ロボットの販売が減少いたしましたが、一方で新エネルギー関連の需要は引き続き増加傾向で推移しており、太陽光発電システム向けの制御機器等の販売が大幅に増加いたしました。

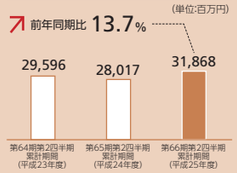
主な営業品目
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等

ACサーボモータ

電子部門

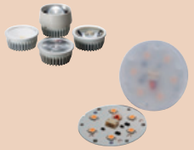
売上高構成比率 67.0%

売上高
318億68百万円
前年同期比 38億51百万円増



電子部門では、携帯電話基地局のインフラ設備向けの電子部品の販売が前年同期に比べ減少いたしましたが、自動車業界向けの電子部品の販売は増加いたしました。

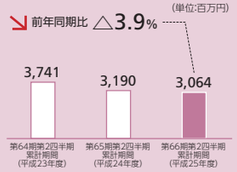
主な営業品目
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等


LED照明モジュール

機械部門

売上高構成比率 6.4%

売上高
30億64百万円
前年同期比 1億25百万円減



機械部門では、太陽光発電システム向けなど一部設備投資の動きは高まってきましたが、全体的に設備投資は弱い動きで推移し、設備機器の販売は減少いたしました。

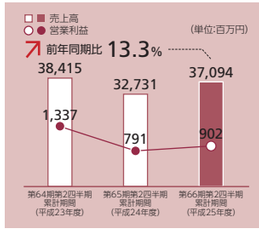
主な営業品目
半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等

双腕ロボット

SUNWA

日本

売上高構成比率 72.6%

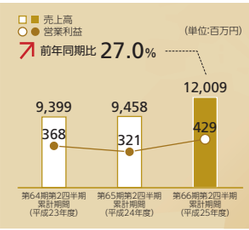


売 上 高　370億94百万円（前年同期比 43億63百万円増）
営業利益　9億 2百万円（前年同期比 1億11百万円増）

国内における設備投資は弱い動きで推移し、設備機器の販売は減少いたしましたが、成長市場である新エネルギーの分野における太陽光発電システム向けの制御機器及び設備機器、自動車業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。

アジア

売上高構成比率 23.4%

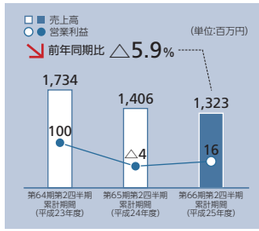


売 上 高　120億 9百万円（前年同期比 25億50百万円増）
営業利益　4億29百万円（前年同期比 1億 7百万円増）

アジア地域では、スマートフォン製造設備向けの電子部品の販売は在庫調整等のため、一時減少いたしましたが、PLC、インバータ向け及び太陽光発電システム向けの電子部品の販売が増加いたしました。

欧米

売上高構成比率 2.3%

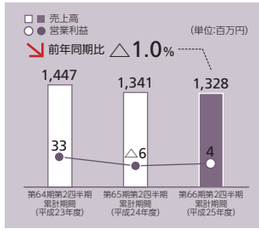


売 上 高　13億23百万円（前年同期比 83百万円減）
営業利益　16百万円（前年同期比 20百万円増）

欧米では、インバータ、サーボモータ向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、電力インフラ向けの制御機器の販売が減少いたしました。

その他 ※

売上高構成比率 1.7%



売 上 高　13億28百万円（前年同期比 13百万円減）
営業利益　4百万円（前年同期比 11百万円増）

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
(注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目／期別	前期 平成25年3月31日現在	当第2四半期 平成25年9月30日現在
（資産の部）		
流動資産	39,758	39,820
固定資産	7,497	8,168
有形固定資産	4,074	4,098
無形固定資産	42	54
投資その他の資産	3,381	4,015
資産合計	47,256	47,988
（負債の部）		
流動負債	28,648	26,904
固定負債	4,258	5,138
負債合計	32,907	32,042
（純資産の部）		
株主資本	13,660	14,452
その他の包括利益累計額	646	1,449
少数株主持分	41	43
純資産合計	14,349	15,945
負債及び純資産合計	47,256	47,988

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目／期別	前第2四半期累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
売上高	40,635	47,574
売上原価	35,359	41,677
売上総利益	5,275	5,896
販売費及び一般管理費	4,161	4,530
営業利益	1,114	1,366
営業外収益	176	195
営業外費用	86	69
経常利益	1,203	1,491
特別損失	65	–
税金等調整前四半期純利益	1,137	1,491
法人税等	432	570
少数株主損益調整前四半期純利益	704	921
少数株主利益	0	0
四半期純利益	704	920

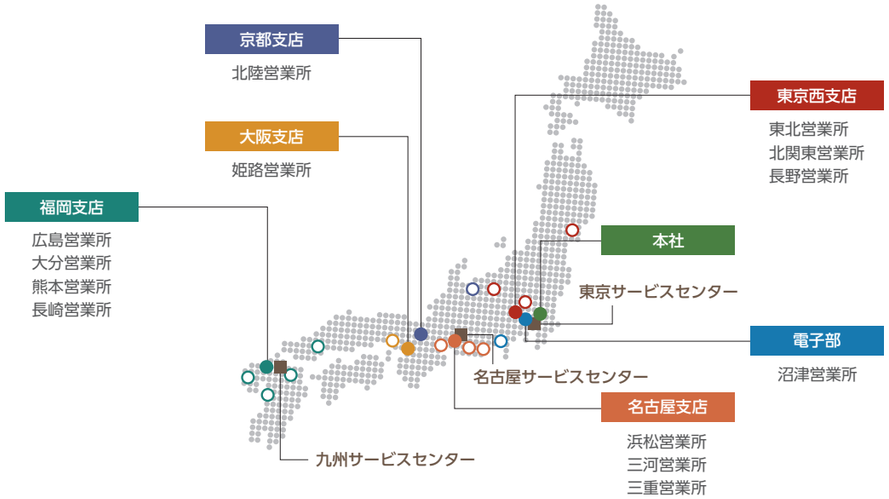
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

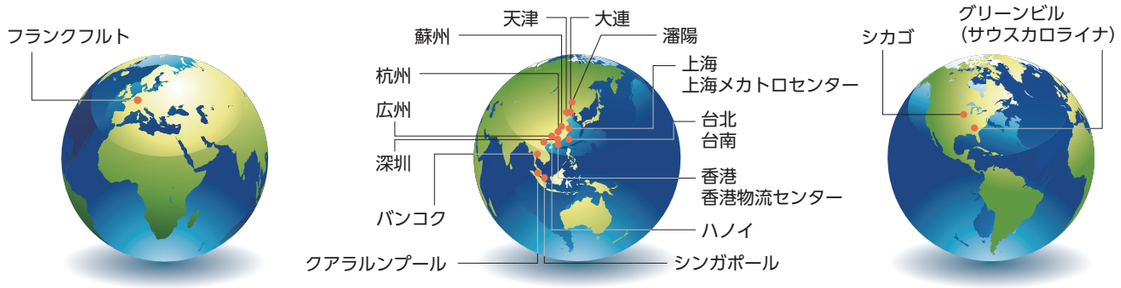
（単位：百万円）

科目／期別	前第2四半期累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,433	△141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161	△181
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	138
現金及び現金同等物の増減額	1,246	△238
現金及び現金同等物の期首残高	3,687	6,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,933	6,711

サンワグローバルネットワーク

SUNWA





SUN-WA TECHNOS (EUROPE) GmbH

SUN-WA TECHNOS (SINGAPORE) PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS (H.K.) CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO.,LTD.

SUN-WA TECHNOS ASIA (THAILAND) CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (SHENZHEN) CO.,LTD.
サンワテスコム株式会社
サンワトリニティ株式会社
サンワロジスティック株式会社

SUN-WA TECHNOS AMERICA,INC.

会社の概要

（平成25年9月30日現在）

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
設立年月日	昭和24年11月4日
資本金	19億3,500万円
発行済株式の総数	12,888,000株
従業員数	449名（連結817名）
ホームページ	http://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

役員

（平成25年9月30日現在）

代表取締役会長	山田 益二郎
代表取締役社長	山本 勢
常務取締役	岸本 達三
常務取締役	田中 裕之
常務取締役	田栗 政俊
常務取締役	福田 均
取締役	五十嵐 正憲
取締役	牧野 利彦
取締役	三根 省一郎
取締役	花山 一八
常勤監査役	青柳 繁
※監査役	石川 勲
※監査役	安國 一
※監査役	小林 純

※監査役 石川勲、安國一及び小林純の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

（平成25年9月30日現在）

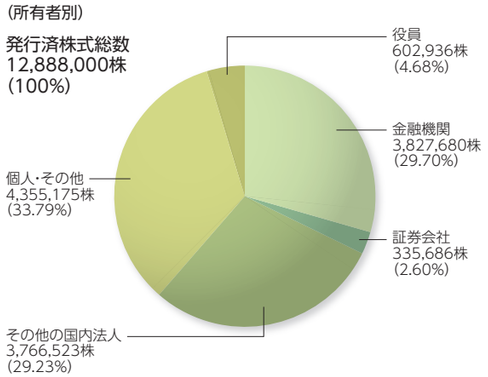
1. 発行可能株式総数　33,380,000株
2. 発行済株式の総数　12,888,000株
3. 株主数　2,692名
4. 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	797,280 株	6.22 %
第一生命保険株式会社	729,960	5.69
株式会社りそな銀行	545,160	4.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	545,160	4.25
オリジン電気株式会社	498,000	3.88
オークマ株式会社	435,600	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	399,300	3.11
株式会社損害保険ジャパン	396,000	3.09
山田 益二郎	390,600	3.04
オムロン株式会社	355,080	2.77

（注）「持株比率」は自己株式（80,394株）を控除して計算しております。

5. 株式の分布状況

（所有者別）



海外子会社　事務所開設（ハノイ事務所）のお知らせ

SUN-WA TECHNOS（H.K.）CO.,LTD.（サンワテクノスホンコン）において、以下の通りベトナム ハノイに事務所を開設いたしました。

【名称】
SUN-WA TECHNOS（H.K.）CO.,LTD. Hanoi Representative Office
サンワテクノスホンコン　ハノイ事務所

【住所】
14/F, VIT Tower, 519 Kim Ma, Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam

電話番号：（+84）4−3856−6688
FAX番号：（+84）4−3724−7286

【開設日】
平成25年8月20日（火）

個人投資家様向け会社説明会（福岡）を開催

平成25年9月28日（土）に大博多ホール（福岡市）で開催されたラジオNIKKEI主催による「個人投資家向け会社説明会」に参加いたしました。

今回、福岡地区での会社説明会に初めて参加いたしました。当日は200名を超える個人投資家の皆様が来場され、当社IR放送の聞き手でもあるラジオNIKKEIの鎌田記者との対談方式で、山本社長より会社概要、第８次中期経営計画（JUMP1200）、業績、株主様への利益還元について説明いたしました。

サンワテクノスでは、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

なお、当説明会の資料は当社ホームページ（http://www.sunwa.co.jp/）でご覧いただけます。

IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に山本社長が出演しております。
放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第８次中期経営計画（JUMP1200）など。
なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
（詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。http://market.radionikkei.jp/8137ir/）

■ラジオNIKKEI 第1　16時15分頃〜
「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」

放送日

第1回　平成25年 6月5日（水）終了	第2回　平成25年7月31日（水）終了
第3回　平成25年11月6日（水）終了	第4回　平成26年2月 5日（水）予定

第1回〜第3回は放送終了し、オンデマンドで配信中です。